



R.I. District2610. ROTARY CLUB OF UOZU
魚津ロータリークラブ 会報誌
2007-2008 年度 RI 会長 ウィルフッドJ. ウィルキンソン
魚津R.C会長 谷川 文紹

2007年 8月10日

第2595回 例会報告

ゲスト並びにビジター紹介

大城 宗文 君 (魚津西 R・C)

誕生祝

8月13日 大城 道雄 君の厚子夫人

8月18日 清水 修三 君の静枝夫人



妻は61歳になりました。自分も妻も今までは働きづめでしたが、今後は多少「一休み」したいと考えています。「一休み」という言葉から「一休さん」を連想しますが、蜷川新右衛門氏は新川の庄に関係があること。また一休は連如上人と仲が良かったなどと聞いています。それはお互いに親との死に別れが早かったことなど、その境遇が似通っていたことによると言われています。そこでここで一休みをすべきと考えています。

8月20日 杉野 芳宏 君の住子夫人



妻の誕生日を祝ってもらって感謝します。妻も自分も80歳です。過日、妻と友人と3人で木曾福島までゴルフに出掛けましたが往復650kmあり、友人と交代しながら車の運転もやり身体的には元気です。伊那から木曾までの山越えが以前と違ってトンネルとなっており、一気に通過できました。今日の土木技術からすると将来には魚津から僧ガ岳の真下を抜けて松本までの道路が出来るのではないかと考えています。

8月24日 山澤 正和 君



誕生日で満63歳になります。父は孫を見ることなく43歳で亡くなりました。自分は二人の孫がおり、なんとかもう一人位孫が欲しいと願っております。これからも身体には十分注意して父の分まで長生きに精進しようと考えています。

8月24日 羽田 陸朗 君の栄子夫人

妻と二人合わせますと120歳になります。お互いに今後も益々元気に過ごしたいと考えております。



8月28日 関口 智恵子 君



先日広島・長崎の原爆慰霊祭のテレビを見ながら、自分も親の立場・子供の立場から改めてその悲惨さを考える機会となりました。今現在も世界での多くの争いごとが続いていることに心を痛めて

います。このような紛争によって貴重な生命を亡くした人達のことを考えると、自身 51 歳になりましたが、51 年の年月の重みと今後も意義ある人生を送る責任を痛感します。

会長挨拶

立秋も過ぎたがまだまだ残暑が厳しい日々です。過日、黒部中央にて第 1 分区会長・幹事協議会があり、協議内容は 12 月 2 日開催の今期の IM で各クラブからの要望を取り入れた内容にしようとの意図で討論しました。その際に当クラブからは種々大会等の登録料が高いと善処を要望しました。その他、議題として会員増強の件もありました。次に、次年度は当クラブからガバナー補佐を選出する件については、クラブ理事会で会長経験者の協議によって決定することが承認されています。次に、ベルギーからの交換留学生受け入れ計画への協力を願います。本日の健康講座は、こまめに水分補給も大事ですが、朝は勿論、発汗による水分補給として就寝前にミネラル分を含む常温水の水分補給に留意してください。1 日での発汗量は 1.5~2.0 ㍓ですので注意してください。

幹事報告

- ★ 直前ガバナー事務局 地区資料送付。
- ★ 地区国際青少年交換委員会 派遣交換学生募集案内。
- ★ 河北南 R・C 10 周年記念誌送付。
- ★ さいたまユネスコ協会 「識字率向上プログラム」資料。

出席報告 本日の出席者 28 名 出席率 91.17% 2593 回出席率 修正無し

ニコニコボックス 本日は無し。

委員会報告 国際青少年交換委員会 ベルギーからの交換留学生受け入れ詳細行事について。

卓話

原子力発電所事故の信頼回復に向けて(資料配布) 春田 清 君

1999 年 6 月 18 日午前 2 時 17 日の北陸電力志賀原子力発電所 1 号機臨界事故発生の概要について

★これまでの経緯

★事実関係 臨界事故当時は定期検査中で停止しており、当時の現場責任者は外部への影響が無いとのことで社内・外部への報告をしなかった

★臨界事故発生の根本的な原因

★事故を隠蔽し実施すべきことをしなかった原因

★28 項目ある再発防止対策について 10 項目の説明

1. 隠さない企業風土づくりとして、

①国の発電所駐在の保安検査官への通報 6 月には 180 件くらいの通報があった

②発電所情報を常時、情報通信ネットワークにて保安検査官・経営陣への伝送

③当時は発電所所長の管轄下であった原子炉主任技術者の位置付けを社長へ直結とした

④コンプライアンス意識の徹底

2. 安全文化の構築として、何点かの社内機構の改善を行っているが、その中で最大の焦点は「従来のコスト・スピード優先主義から安全最優先主義」の取り組みである。

3. 臨界事故等に対する技術的再発防止対策

4. 再発防止対策のフォロー対策として、社内では経営トップを含めた「原子力安全信頼回復推進委員会」を設置。社外に有識者・専門家・地元により「再発防止対策検証委員会」を設置

以上が概要であるが、詳細は北陸電力のホームページで紹介されている。

